

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 8名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 68%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・状況、曜日によってはドライバーや指導員が充分でないことがある。
- ・教室が2階にあり、階段を使用している。

○業務改善

- ・出勤時間のズレから、非常勤のスタッフを含めたミーティングや研修が実施できないこともあるが、ミーティング共有ノートで共有している。
- ・業務改善に向けた話し合いは、日々のミーティングで行っている。

○適切な支援の提供

- ・アセスメントを行い、生徒の特性や課題に合わせた個別支援計画を作成し、支援を提供することが出来ている。
- ・療育内容について、日々意見交換に努めている。また、療育活動の担当を非常勤も含めた全スタッフが担当することで、同じ支援観を持ち、療育の質を高められるよう努力している。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校や保護者との連携は送迎時に情報共有し、連携強化を図っている。
- ・学校や相談支援事業所、保護者との会議には責任者、管理者、常勤指導員が参加している。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時に一日の様子を口頭で伝えている。また、ニュースレターを通じて療育活動の様子や、翌月の集団療育の予定を配信している。
- ・ブログが更新できていない。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているが、保護者への周知が出来ていない。
- ・火事、地震、洪水、不審者を想定した避難訓練を毎月行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・階段が急に感じる。
- ・職員数や利用人数が分からない。
- ・専門性について不安を感じる時がある。

○適切な支援の提供

- ・障害のない生徒との交流については分からない。

○保護者への説明等

- ・「保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか」に対し、できないことについて、こうしたらどうかという専門的な助言が欲しい。
- ・利用者負担についての説明がない。

○非常時等の対応

- ・防犯マニュアルについて説明がない。

○満足度

- ・土曜日も開室してほしい。
- ・学校休業日の時の利用時間がもっと遅くまでだと助かる。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者会、療育参観、ニュースレターの充足を計り、多くの方に教室環境や活動内容を周知していく。
- ・教室運営上エレベーターの使用は難しいが、階段やトイレに手すりの設置を検討する。
- ・階段昇降の際は、スタッフが必ず靴紐や所持物の状況確認を行い、階段下と階段上に人員を配置することで子どもの安全確保に努める。
- ・階段がやや暗い為、運営本部、ビルの管理会社に相談し、照明設備の改善を進めていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・階段の照明については、管理会社に相談し改善されている。手すりについては構造上設置が難しく、引き続き検討していく。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・アセスメントを行い、生徒の特性や課題に合わせた個別支援計画を作成し、支援を提供することが出来ている。
- ・学校や相談支援事業所、保護者との会議には責任者、管理者、常勤指導員が参加していて、連携体制が構築されている。
 - ・療育活動の担当を非常勤も含めた全スタッフが担当することで、同じ支援観を持ち、療育の質を高められるよう努力している。

○改善点

- ・教室内環境の周知。
- ・保護者同士の連携支援。
- ・情報発信力。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・教室運営上必要なバリアフリー化を引き続き検討し、設備の充足を図る。
- ・情報を発信する方法として、より良い方法を検討する。また、保護者会やニュースレターの内容について充実させ、教室環境や活動内容を周知していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・療育参加できる保護者会を実施し、スタッフ体制や療育活動の周知を図る。また、保護者交流の時間も設ける。
- ・ニュースレター等で緊急時対応を周知する。

スマートキッズ